

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2024年12月13日

2023年JNTO国際会議統計

～年間開催件数は前年比2.5倍の1,376件を記録～

- 本統計はJNTOが定義する統計基準*1に基づき、全国の自治体やコンベンション・ビューロー、府省庁の協力のもと調査を行い、全国における国際会議の開催件数や会議参加のために訪日した外国人参加者数を把握し、毎年公表するもの。
- 2023年に日本で開催された国際会議の開催件数は、前年比2.5倍の1,376件となった。参加者総数は、前年比3.1倍の101.6万人（うち外国人参加者数12.9万人）で、前年から大きな回復を見せた。
- 規模別では、中・大型国際会議*2は全体の18.5%にあたる255件開催され、外国人参加者数は8.8万人で、全会議における外国人参加者数のおよそ7割を占めた。2019年との比較では、中・大型国際会議の開催件数は54%、外国人参加者数は67%まで回復が進んでいる。
- 開催形態については、対面開催による国際会議件数は736件と、全体の53%を占める結果となり、2020年以降で初めてハイブリッド形式による開催件数を上回っており、対面開催への回帰がうかがえる。
- JNTOでは世界の国際会議の動向把握に努めるとともに、日本各地の最新情報を積極的に発信するなど、引き続き国際会議の日本開催に向けた誘致活動を強化していく。

*1 JNTO国際会議統計における国際会議の選定基準

- ①主催者： 国際機関・国際団体（各国支部を含む）又は国家機関・国内団体
（「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て対象）
- ②参加者総数： 50人以上
- ③参加国数： 日本を含む3居住国・地域以上
- ④開催期間： 1日以上

*2 中・大型国際会議

国際会議のうち、外国人参加者数50人以上、および、参加者総数300人以上のもの

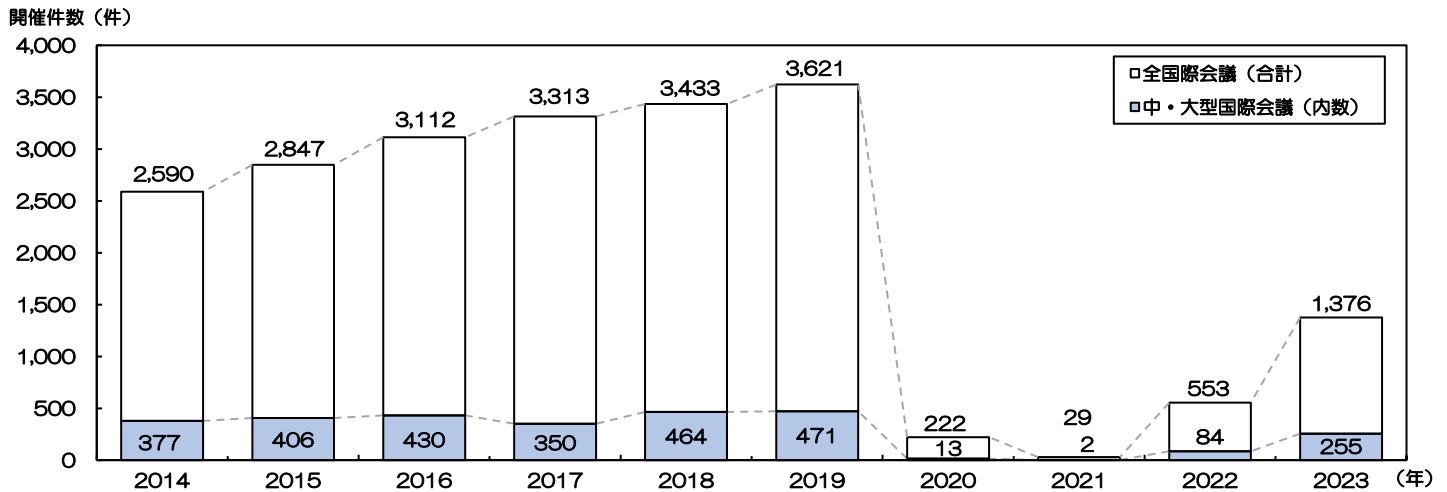
※「2023年JNTO国際会議統計」は下記リンクに12月13日に掲載予定。

<https://mice.jnto.go.jp/document/statistics.html>

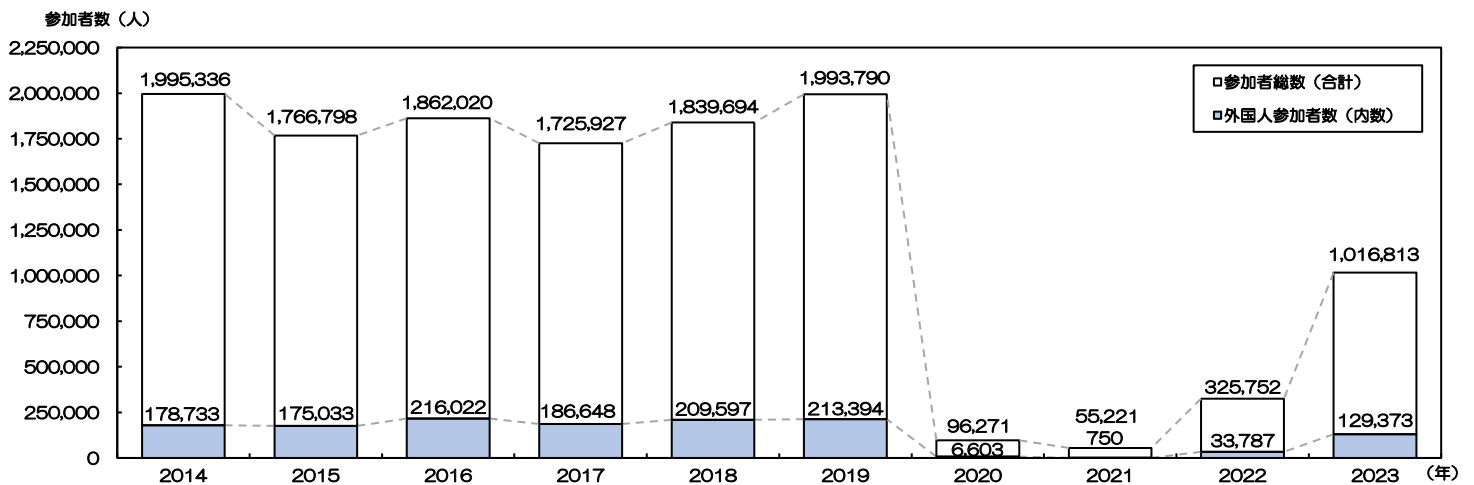
【お問い合わせ先】

企画総室 調査・マーケティング統括グループ 伊藤・小畑・中川
TEL：03-5369-6020 E-MAIL：survey@jnto.go.jp

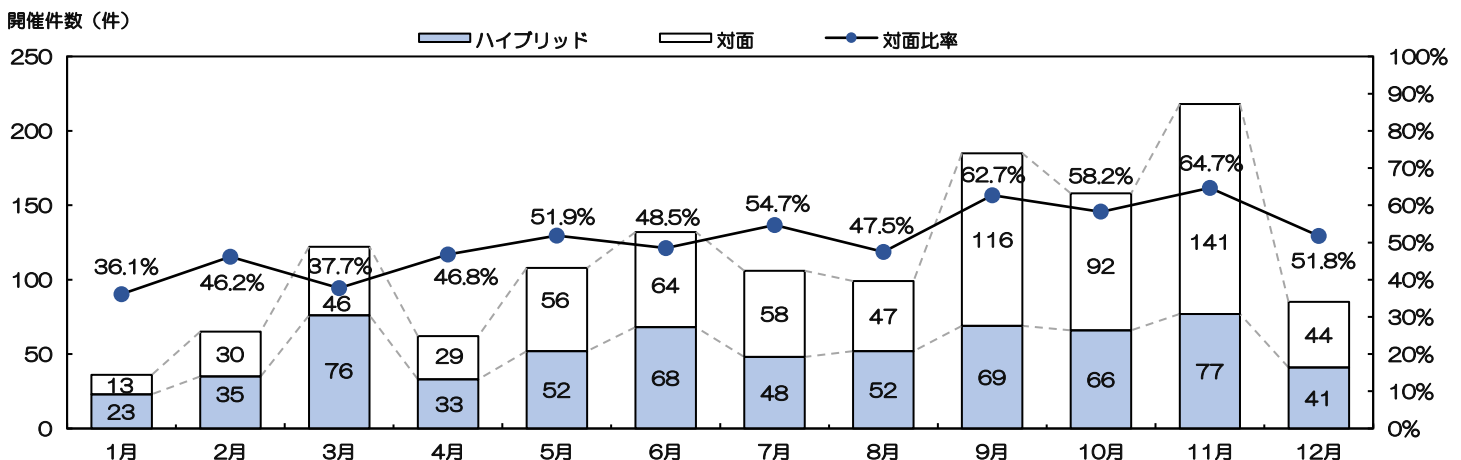
図表 1 日本の国際会議開催件数 (2014年～2023年)



図表 2 日本の国際会議の参加者数 及び 外国人参加者数 (2014年～2023年)



図表 3 月別開催件数 及び 対面会議比率 (2023年)



[図表 3]注：国際会議が月をまたがって開催されている場合、開催日数が多い月に計上した。また、この場合、開催日が前の月と後の月で同数であれば前の月に計上した。

【参考】2023年 ICCA 国際会議統計 ※2024年5月にICCAより発表された「ICCA Statistics Report 2023」の内容を掲載しています。

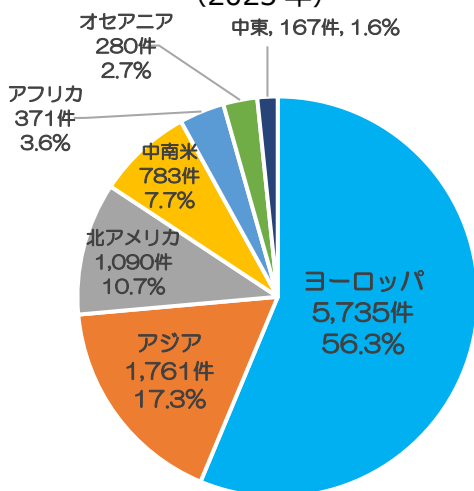
ICCA 国際会議統計について

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）では、以下のICCAの選定基準を満たした会議を集計のうえ、全世界で開催された国際会議の統計を毎年発表している。JNTO 国際会議統計では、会議参加のために訪日した外国人参加者数や1回限りの開催でローテーションが伴わない国際会議をはじめ日本で開催された国際会議を広く把握している一方で、ICCA 国際会議統計では3カ国以上のローテーションを伴った定期的な国際会議の開催状況を集計し、発表している。

ICCA 国際会議統計における国際会議の選定基準

- ① 参加者総数：50名以上
 - ② 開催期間：定期的に開催（1回のみ開催した会議は除外）
 - ③ 開催国について：3カ国以上で会議のローテーションがある（2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外）
- ※ICCA 国際会議統計では、参加者総数が50名未満または不明の会議でも、ICCA登録のある過去の同会議シリーズのいずれかの年の会議で50名以上の対面参加の実績が確認できれば、基準を満たす会議として登録される場合がある。

図表4 大陸別開催状況
(2023年)



図表5 国・地域別開催件数
(世界全体、2023年)

国・地域	件数
アメリカ	690
イタリア	553
スペイン	505
フランス	472
ドイツ	463
イギリス	425
日本	363
オランダ	304
ポルトガル	303
カナダ	259

図表6 国・地域別開催件数
(アジア・オセアニア域内、2023年)

国・地域	件数
日本	363
韓国	252
オーストラリア	219
中国	170
シンガポール	152
タイ	143
インド	123
台湾	106
マレーシア	104
インドネシア	68

※ICCA（国際会議協会）統計よりJNTOが作成。上位10位を抜粋。
 ※中国は香港、マカオを除く開催件数。
 ※開催件数はハイブリッド会議を含む。
 ※開催件数は2024年5月「ICCA Statistics Report 2023」発表時点の数値。

- ICCAの統計によると、2023年の世界の国際会議の開催件数は2019年比70.3%（2019年：14,473件）の10,187件となった。図表4は大陸別の開催件数を掲載しており、ヨーロッパでの開催件数は5,735件と世界の会議件数の半数以上を占め、アジアでの開催件数は1,761件と全体の17.3%を占めた。
- 図表5の世界全体での国・地域別の開催件数では、日本は昨年の12位（2023年5月「ICCA Statistics Report 2022」発表時点）から順位を上げ、363件で7位となった。上位10位以内には日本を除き、欧米諸国がランクインする結果となった。
- 図表6のアジア・オセアニア域内での国・地域別の開催件数では、日本は昨年引き続き1位を維持し、アジア・オセアニア主要5カ国（日本・中国・韓国・シンガポール・オーストラリア）における国際会議の開催件数（1,156件）に占める日本のシェアは31.4%と約3割を占めた。

ICCAメンバーの方は以下ICCAのWEBサイトよりダウンロードできます。
 メディア等の方はICCAへのリクエストが必要です。詳細は、以下のICCAのWEBサイトをご確認ください。
[ICCAウェブサイト 2023年ICCA統計「Annual Country and City Rankings Report for 2023」](https://www.icca-international.com/annual-country-and-city-rankings-report-for-2023/)